

令和5年度西区実施プラン 期末報告

令和6年（2024年）3月 札幌市西区

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、令和5年度の実行結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

令和6年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

令和6年（2024年）3月31日

西区長 坪田 靖

I 西区実施プランの全体

◇ 西区の使命

区民誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、地域の主体的なまちづくり活動を支援し、区民の皆さまとともに持続可能な西区のまちづくりを進めてまいります。

◇ 西区の運営方針

西区は、第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく安全・安心、環境、文化の各事業を中心に行うとともに、次の3つの方針でまちづくりや区役所運営を進めます。

1. 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
2. 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり
3. 市民感覚を大切にされた地域とともに進めるまちづくり

- ・ 各部の目標
- ・ 運営方針実現のための取組

Ⅱ 運営方針実現のための取組

1 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

(1)地域の防災力強化

小中学校などの指定避難所(基幹)において区職員、学校職員及び地域住民の3者で実際に避難所の設営・運営などを体験する避難所開設訓練や避難所運営研修を実施しました。

また、地域で自主防災活動に取り組む方に対して、防災資機材の取扱や応急手当を学ぶことができる防災実技研修を行いました。

さらに、町内会等が行う自主的な防災研修会や訓練等の開催支援として、町内会に対する防災講話や小学校に対する防災教室等を行いました。



【避難所開設訓練の様子】



【避難所運営研修の様子】

〈数値目標〉	避難所開設訓練・研修の参加者数	200人	→	実績	183人
	防災実技研修の参加者数	120人	→	実績	112人

(2)介護予防体操の普及

住民とともに制作した介護予防体操「エコロコ!やまべエ誰でも体操」の普及員養成講座を開催する他、より幅広い世代の区民に普及させるため、小中学生をメインターゲットとして「やまべエ体操応援隊」を新たに創設しました。普及員及びやまべエ体操応援隊とともに、更なる体操の普及や介護予防の推進を目指し、夏祭り等の様々なイベントで体操を披露しました。

また、普及員活動研修会等を通して、普及員同士の交流と普及員が地域で活躍できる機会を設けたことで、普及員のモチベーションの維持・向上につながりました。

〈数値目標〉	普及員数	510人(34人増)	→	実績	511人(35人増)
	応援隊員数	100人	→	実績	566人(保護者や地域住民を含む)

※活動指標 区内介護予防センターによる普及人数:延 14,509人(R6.2月末まで)



【応援隊の子ども達の様子】



【普及員活動研修会の様子】

(3) 地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指し、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体・グループの活動支援や、健康教育講座の開催、地域主催の健康講座への協力など、誰もが参加できる健康づくり事業を協働で行っており、令和5年度は市民健康教育講座を5回、地域健康教室を2回実施したほか、9月には西健康づくりセンターとの共催により、関係団体や企業の協力を得て健康づくりフェアを実施しました。

また、健康づくり活動がより多くの区民に広がるよう、健康講座や子育てサロン、乳幼児健診の場などを活用し、がん検診の啓発を行いました。

(4) だれでも・いつでも・なんどでもノルディックウォーキング事業

働く世代を含む幅広い世代の区民が多様なライフスタイルに合わせ、年間を通してノルディックウォーキングを活用した健康づくりに取り組むことができるよう、農試公園と保健センター、まちづくりセンター等を拠点として、ポールの無料貸し出しを行いました。また、保健センター主催の講習会を2回、農試公園主催の講習会を8回と啓発イベントを2回開催しました。

〈数値目標〉 ノルディックウォーキングを実践した人数 500人
→ 実績 421人

(5) 認知症の方や家族への支援

認知症の方がいつまでも住み慣れた地域で暮らせる「認知症にやさしいまちづくり」を目指し、区民に向けた普及啓発活動を実施しました。地域包括支援センターとの協働により、商業施設で実施したパネル展では、医療機関、家族会、区内の認知症カフェの協力を得て、相談会や合同認知症カフェを開催しました。

また、西区ホームページ、広報誌を通じて、認知症に関する情報を発信すると共に、男性介護者の集いを開催し、家族支援の機会としました。



【パネル展での認知症カフェ】



【介護者向け広報誌】

(6)障がい者への支援

社会的に孤立している知的障がい者の方がいないか把握するため、福祉サービスを利用していない方を対象に郵送や訪問により生活状況の調査を実施しました。対象の方には福祉ガイドを送付し、福祉サービスの周知を行いました。また、民生委員への情報提供を希望する方については、情報提供カードを民生委員に提供し、情報共有を図りました。

障がい者が暮らしやすい地域づくりを目指し、「自立支援協議会西区地域部会」において福祉サービスを提供する事業者間で意見交換会や交流会を実施することにより、支援力の向上を図りました。また、事業所の活動や情報提供を目的に、「事業所説明会」を開催し、多職種間の連携やネットワークの構築を図りました。

(7)安心して子育てできる地域の環境づくり

乳幼児をもつ保護者が安心して子育てができるよう、手続き等で来所した保護者を直接保育士へつなぎ、確実に地域の子育て情報をお伝えしました。

また、『こそだてインフォメーション「さんかくやまベエのへや」』では、子どもを遊ばせながら、子育て情報の収集、お子様の身長・体重の測定や、子育てについての相談をする場所として多くの保護者に利用されました。さらに、支援を必要とする子どもたちが、地域で安心して暮らすことができるよう、子どもに関係する地域の関係機関のネットワークを生かしながら連携・協働して見守りを行いました。



【子育てインフォメーションでの
体重測定の様子】

(8)誰もが楽しめる公園づくり

身近な公園の全面改修を地域の方々の声を取り入れながら、6公園（宮の沢沢美公園・宮の沢見晴らし公園・宮の沢高見台公園・宮の沢青雲公園・宮の沢もみじ公園・西野ひよこ公園）で進めました。

また、安全・安心に公園を利用できるように、老朽化した複合遊具を4公園（発寒三条泉緑地・西町白樺公園・こだま公園・山の手白銀公園）、テニスコートを1公園（西野昭和公園）改修しました。



【西野ひよこ公園 全面改修後】

(9)安全・安心な道路環境の確保

老朽化が進んでいる道路について、生活道路整備などの舗装の更新を24路線で実施しました。

また、円滑な交通を確保するため、車道518km、歩道262kmの除雪を実施しました。

さらに、日頃より災害等に備え、迅速な初期対応や復旧活動を行うため、西区災害防止協力会等と共同で防災訓練を実施しました。



2 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり

(1)琴似発寒川の環境保全推進事業

地域住民が主体となって実施する琴似発寒川の環境保全活動を支援しました。

① 琴似発寒川一斉清掃

西区内の連合町内会が参加して、春に琴似発寒川及び左股川の河畔約12kmを清掃しました。

② やまめの稚魚放流

西区内の連合町内会が参加して、一斉清掃の翌週に琴似発寒川の流域4会場で、やまめの稚魚約30,000匹を放流しました（2会場については、前日に会場近隣でヒグマの目撃情報があったため、放流を中止）。

(2)西区環境まちづくり協議会等支援事業

西区の豊かで恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、「西区環境まちづくり協議会」や区民・団体・企業など、地域の人々が主体的に取り組む環境活動などを支援しました。

① 西区環境まちづくり協議会に対する支援

西区環境まちづくり協議会の運営及び活動の支援を行いました。

<主な活動>

◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区コドモ自然学校」

○「エコキッズ・プログラム」では、小学校や幼稚園・保育園を対象として、五天山公園や琴似発寒川などで、昆虫や植物を観察する自然体験教室や川の生き物を観察する水生生物観察会等を実施しました。

・31回開催、延べ1,516人参加

○「親子でエコキッズ・プログラム」では、2歳・3歳の子どもとその保護者を対象と

して、西区の自然を活かした遊びや散策、食事などの活動を通じて、自然とのふれあい方を学ぶ機会を提供しました。

・2回開催、延べ15組35人参加

○「西区コドモ自然学校」では、自然の中での活動に興味のある小学生4～6年生を対象に、西区の自然を活かした自然体験活動を行い、身近な自然に親しみ、楽しみながら環境について学ぶ機会を提供しました。

・3回開催、延べ54人参加

◆「親子で環境満喫バスツアー」

西区内の小学校に通う児童とその保護者を対象に、環境活動やリサイクルの取り組みについて関心を持ってもらうことを目的としてバスツアーを実施しました。石狩市古潭海岸において、ビーチコーミング（漂着物の採取）活動及び海岸清掃を行いながら学芸員の解説を受け、身近な自然環境や海洋プラスチックごみ問題について学びました。

・2回開催、親子37組75人参加



【西区コドモ自然学校の様子】



【ビーチコーミングしている様子】

◆「西区こども環境広場」

札幌市生涯学習センターちえりあにて、様々な体験やゲームを通じて楽しみながら環境について学ぶ体験型イベント「西区こども環境広場」を開催しました。西区環境まちづくり協議会の構成団体や区内の企業がブースを出展したほか、ステージイベントでは「子ども環境活動発表会」や「やまベェ&環境クイズ大会」、「エコマジックショー」などを実施しました。(11月25日実施)



【子ども環境活動発表会の様子】

〈数値目標〉 事業参加人数 2,400人 → 実績 2,634人

② 西区アダプト・プログラム

環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進するため、企業や学校、商店街などの地域団体と西区役所が協定を結び、身近な道路や公園といった公共の場所を清掃するなど、継続的にまちの美化活動を行いました。今年度は6団体が新たに参加しました(登録団体数58団体)。

また、10年以上継続して活動している団体に表彰を行いました(今年度は1団体に表彰)。

(3)西区SDGs普及啓発事業

SDGsへの理解を広め、身近なところからSDGsの推進を図っていくことを目的に、日々の暮らしの中でSDGsを意識するきっかけづくりとして、4回目となる「西区SDGsフォトコンテスト」を開催し、6月から8月までの3か月間作品を募集しました。

また、区内のSDGsに取り組む企業や団体と連携し、工場見学やワークショップを通じてSDGsについて学ぶ「親子で学ぼう!SDGsバスツアー」、地元企業のSDGsへの取り組みを授業で学ぶ「西区SDGs出前授業」のほか、地域の高齢者向けに健康増進を目的とした「シニアいきいき健康講座」を実施するなど、広くSDGsの普及啓発を進めました。

〈数値目標〉 SDGsフォトコンテスト応募作品数 170作品 → 実績 188作品



【SDGs フォトコンテスト一般の部グランプリ】



【親子で学ぼう!SDGsバスツアー】



【西区SDGs出前授業】

(4)地域の文化芸術活動の推進

西区には様々な文化関連施設が設置されており、本格的な文化芸術に触れることができる環境を生かして、区民の方に対し、上質な文化芸術に触れる機会を創出しました。区内の文化芸術活動のすそ野を広げるため、親子で楽しめる事業にも力を入れました。

① 西区文化フェスタ 2023

9月4日（月）から17日（日）の期間、西区内の文化施設において、演劇、音楽、日本舞踊、華道、書道、コンサート、ダンスなど様々なジャンルの公演を開催しました。期間中11団体が出演し、13公演を開催、期間合計での来場者数は1,100名を超える結果となりました。



【西区文化フェスタ 2023】

② コトニジャズ・コトニクラシック

市内で活躍する演奏家やプロの音楽家による本格的な演奏を気軽にお楽しみいただく「コトニジャズ・コトニクラシック」。

コトニジャズは9月に地下鉄琴似駅、12月にスペシャル版として「コトニジャズスペシャル」をちえりあホールで開催しました。

コトニクラシックは12月にトライアングル広場（イトーヨーカドー琴似店内）、2月にスペシャル版として「コトニクラシックスペシャル」をちえりあホールで開催しました。

令和5年度は4回開催し、延べ1,000人以上の方にご来場いただきました。



【コトニジャズ（地下鉄琴似駅）】



【コトニジャズスペシャル（ちえりあホール）】



【コトニクラシック（トライアングル広場）】



【コトニクラシックスペシャル（ちえりあホール）】

③ にしく♪ちびっこミュージックプロムナード

9月15日（金）と10月14日（土）の2日間（1日2回開催）、0歳から6歳までの未就学のお子さんとその保護者を招いて、白い恋人パークで開催しました。

令和5年度は4回開催し、延べ33組76人の方にご来場いただきました。



【にしく♪ちびっこミュージックプロムナード（白い恋人パーク）】

④ こども・あーと・にしく

小学校の夏休み・冬休み期間を利用して、子ども向けのワークショップを実施。

子どもが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供しました。夏は8月に札幌芸術の森でサンドブラスト体験と美術館でアート作品の鑑賞、冬は1月に陶芸体験を行いました。令和5年度は2回開催し、延べ51人の児童にご参加いただきました。



【こども・あーと・にしく夏 サンドブラスト体験】



【こども・あーと・にしく冬 陶芸体験】

3 市民感覚を大切にした地域とともに進めるまちづくり

(1) 地域の課題解決をサポート

住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指し、区内に8か所ある「まちづくりセンター」が住民とともに地域の伝統文化などの魅力や町内会活動をはじめとした担い手不足などの課題を踏まえたさまざまな事業を行いました。

また、「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」が令和5年4月に施行されたことを踏まえ、町内会加入促進支援の一環として、町内会活動の役割や必要性への周知を図り理解を深めるためのチラシ作成支援等の取組を行いました。

八軒まちづくりセンター

「地域の力を結集し支え合うまちづくり ー高齢者の見守り・防犯・防災ー」

八軒地区では、八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などをメンバーとする「八軒まちづくり協議会（八軒サポート隊）」を結成。安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。

高齢者の見守り活動を充実させるため、昨年度に引続き「高齢者見守りマップ」の作成会を開催したほか、回転灯装着車による防犯パトロールの実施、HUG（避難所運営ゲーム）研修の実施による避難所の運営に関する知識向上、三角山放送局において地域情報や各団体の活動紹介などの発信を行いました。



見守りマップ作成作業
（昨年度参加できなかった
3町内会が参加）



HUG 研修の状況
（40名が参加）



三角山放送局に出演する連町会長（右側）
（毎週水曜日。年間47回実施）

琴似二十四軒まちづくりセンター

◆琴似屯田菜園ふれあいフェア（8/19～20）

琴似連合町内会が管理する屯田菜園の活動周知を兼ねた「琴似屯田菜園ふれあいフェア」の企画・運営を支援（延べ500名来場）

◆町内会活動におけるICT活用の研修会

ICTを町内会活動に取り入れ、地域コミュニティの強化や担い手の負担軽減を図るため、デジタル講習会やWEBアンケートの作成方法などを学ぶ研修会を開催。



琴似屯田菜園ふれあいフェア
（場所：ホテルコトニ札幌屋上）



デジタル講習会（7/27）
二十四軒連合町内会



WEBアンケート研修会（8/23）
二十四軒東連合町内会

西町まちづくりセンター

「子ども達の夢を応援！！西町・コンサ通りまちづくり事業」

未来を担う子どもたちが地域への愛着をより一層深められるような、活気ある住みよい街を目指した取組を推進しています。

◆北海道コンサドーレ札幌バドミントンチーム選手と児童の交流（令和5年10月） （手稲東小6年生、西園小6年生、2校計約200名）



交流ゲームの様子
（西園小）



選手への質問コーナー
（手稲東小）

発寒北まちづくりセンター

◆発寒キラキラ7days（一斉環境美化）事業

平成23年（2011年）から地域で取組んでいる清掃活動。コロナの影響で地域全体での実施を見合わせていましたが、9月から10月にかけて4年ぶりに地域全体で実施することができました。再始動に当たり、発寒北安心して暮らせるまち協議会（まち協）の取組として、町内会、小中学校、特別支援学校、商店街等が無理なく参加・協力・連携できる新たな体制の構築や調整を行い、約1,200人が活動に参加しました。



【地域行事として運営】



【小中学校等との連携】



【特別支援学校との連携】

西野まちづくりセンター

「水車のあるまちエコ City 西野」

西野地区の子どもたちが、かつて水田地帯であった西野の歴史や文化を地域と交流しながら学び、地域愛を醸成する取り組みを進めています。

◆第15回水車で地域交流会（令和5年9月30日、場所：五天山公園）

小学生30名に加え西野連合町内会・昭和連合町内会、青少年育成委員会、児童会館、小学校、西陵高校ボランティア局など総勢120名が参加。



【玄米の精米体験】



【わらを結び大縄跳び】



【羽釜で炊飯・カレー実食】

山の手まちづくりセンター

「三角山で育む“まちづくり心”支援事業」

三角山ボランティアが中心となって企画運営する魅力発信・保全・登山マナーの啓発等の活動を通じて、市民が三角山に親しむ事業を支援しました。

三角山健康登山スタンプラリーや三角山ボランティア整備登山のほか山の手地区文化祭での三角山写真展や小学校での三角山と人々の歴史総合学習を行いました。

※「山の手小子供すくすく育み隊三角山登山」は実施できませんでした。

三角山健康登山スタンプラリー

（参加223名）

山の手シンボル三角山の魅力にふれながら、健康づくりに参加してほしいと、月に3回山頂下にある四阿内のスタンプを押した方にポストカードを進呈するスタンプラリーを実施しました。



廃食油や廃材を活用するアップサイクル（創造的再利用）活動を、商店街のイベントやすこやか倶楽部（介護予防センター）で実施したほか、廃食油と使用済みのローソクから作るエコキャンドルを使って、アイスクャンدلイベントを実施しました。廃材は地元の木工所から、使用済みのローソクは地元の葬儀会社から提供いただいたほか、エコキャンドルの作成には発寒児童会館の児童たちが協力してくれました。（アップサイクル 203 人、アイスクャンدلイベント 65 人参加）



【廃材を活用したよせ木アート作り】



【アイスクャンدلイベント】

八軒中央まちづくりセンター

「八軒中央地区マスコットキャラクター活用事業」

次代のまちづくりを担う子どもたちに地域への愛着を深めてもらおうと、地元の小学生の応募作品を基にして令和2年度に誕生した、八軒中央地区のマスコットキャラクター「はっけんくん」。

令和5年度は、はっけんくんをデザインした交通安全旗や地域の旗、はっけんくんと一緒に記念撮影ができるフォトパネルを作成。地域のまちづくり活動の活性化やイベントなどでのにぎわいづくりに活用しています。



【交通安全旗】



【地域の旗】



【フォトパネル】

(2) 緑あふれるまちづくり

花苗を町内会などに提供し、歩道空間の美化に取り組みました（26 路線の 65 団体へ約 12,000 株）。

また、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）について、地域と協力してラベンダーによるシンボルロードづくりを進めています。



(3)冬の暮らしに親しむ雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが、冬の暮らしに関心を持ち、札幌の雪対策に対する理解が深まるよう、小学生を対象に札幌市の除雪に関する出前授業や除雪機械試乗体験、砂入りペットボトル製作体験等の雪体験授業を実施しました。



雪体験授業（出前授業）



雪体験授業（体験学習）

(4)区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、町内会をはじめとするさまざまなまちづくり活動を、広報さっぽろの表紙（写真 35 枚）、西区ホームページ（66 件）や西区役所 1 階ロビーのデジタルサイネージ（電子看板）で配信している「西区ニュース」（24 件）で広く紹介しました。

また、広報さっぽろに西区で活躍している方などを紹介する企画「今月のやまベフレズ」（6 回）を連載しました。



【やまベフレズ】



【デジタルサイネージに表示した西区ニュース】

(5) 選挙啓発活動の推進

① せんきょ体験授業

将来の有権者である子どもたちに選挙の大切さを学び、選挙を身近に感じてもらうため、区内の小学校16校で選挙に関する講義や模擬投票を行う「せんきょ体験授業」を開催しました。

【参加児童数：1,261名】



【模擬投票（開票作業）の様子】

② 西区明るい選挙啓発書道作品展

将来の有権者である子どもたちに政治や選挙への関心を高めてもらうため、区内の小学校に通う4年生から6年生を対象に書道作品を募集し、全応募作品（入賞作品18点を含む）について、イトーヨーカドー琴似店（1階トライアングル広場）に展示しました。

【全応募作品1,272点】



【作品展（トライアングル広場）の様子】

(6) 窓口混雑緩和の取組の実施

春の引っ越しシーズンの混雑が著しい戸籍住民課窓口において、待ち時間を短縮し、混雑緩和を図ることを目的に、西区役所1階第5会議室を用いて臨時待合室を設置しました。

臨時の記載台の設置、届出書類への記入方法の掲示を行うとともに、受付の順番が近くになったらお知らせするメール呼出サービスの利用を促して、受付に要する時間を短縮し、スムーズに手続きが済ませられるように努めました。

また、令和5年11月1日よりコンビニ交付サービスでの手数料が100円安くなりお得にご利用できるようになったことを区役所ホームページや1階ロビーでの掲示物などで周知し、窓口混雑緩和につなげられるよう努めました。